

活動報告

災害時にも役立つ冷凍食品で防災意識を促進！ 令和5年度 大泉町防災フェアに参加

味の素冷凍食品株式会社（以下、味の素冷凍食品）は、2023年8月27日に東邦産業いずみの杜（群馬県邑楽郡大泉町朝日 4-7-1）で開催された大泉町主催の「令和5年度 大泉町防災フェア」に参加しました。本フェアは、地域住民の防災に関する理解と防災意識の高揚を図ることを目的としており、気軽に楽しく防災に対する知識を習得することができる場として、2005年から実施されています。新型コロナウイルスの影響で、今回は5年ぶりの開催ということもあり、子どもから大人まで多くの人に参加しました。



味の素冷凍食品（株）関東工場は、群馬県邑楽郡大泉町にあることから、大泉町と災害時に必要な物資の調達に関する協定を結んでいます。災害時には、火を使わずに自然解凍で食べることができる冷凍食品を供給することが想定されるため、本フェアでも自然解凍冷凍食品を中心に提供しました。

当日は、調理が不要な自然解凍冷凍食品である「エビ寄せフライ」「レモンとバジルのチキン香り揚げ」「えびとひじきのふんわり揚げ」「カップに入ったエビのグラタン」や、業務用商品の冷たいカップデザートを約600人分提供し、もしもの時に役立つ冷凍食品の価値を地域住民の方へお伝えしました。提供が始まると、多くの方が当社ブースに足を運んでくださり、朝早くから長い列ができていました。



また、イベントブースでは「ギョーザ」の価値を多くの方へお伝えするため、「災害時にギョーザが役立つ」をテーマに、クイズイベントを実施しました。『停電発生時でも味の素冷凍食品の「ギョーザ」は何時間程度であれば安心して食べられるのか?』というクイズに対し、多くの方にチャレンジいただき、クイズの正解者先着 100 名に、近隣の量販店で使用できる「ギョーザ」の無料引換券を配布しました。

<クイズ参加者の声>

- ・半日程度日持ちすれば十分だと思っていたが、24 時間と聞いて驚いた!
- ・24 時間も日持ちするように作られている技術がすごい!
- ・いつもギョーザを食べています!これからも冷凍庫にストックします!



本フェアでは、その他に「防災 VR 体験」や「地震体験」、「子ども向けミニ消防車の乗車体験」といった防災体験、消防署による実演訓練などが行われ、防災に対する意識を高める場となっていました。

今回、大泉町の防災フェアに参加し、地域住民の方々や防災関係者の方とも交流を図ることができました。当社の冷凍食品の歴史は、1972 年から始まりました。創業の地で、改めて当社の冷凍食品の価値をお伝えすることができ、地域住民の方々との親交をさらに深める良い 1 日となりました。



2023 年 8 月 29 日